

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)9月17日

所属名:湖東農産普及課

番号:F24013

発信者名:川村智、堤、忠谷

ペレット堆肥散布実演会を開催

令和6年8月9日に、ペレット堆肥の利用促進を目的としてフレンドリーファームいしでら(以下「FF いしでら」という。)のほ場で散布実演会を開催し、参加者20名がペレット堆肥の利点や課題について理解を深めました。

ペレット堆肥とは堆肥を粒状のペレットに圧縮したもので、臭いが少なく、保管や運搬に優れています。「グリーンな栽培体系」への転換(化学肥料の使用量低減による環境にやさしい栽培技術と省力化による技術の組合せ)を図るために、FF いしでら協力のもと2年間ペレット堆肥の実証を行ってきました。

実演会は集落営農の組合長を中心に参加され、ペレット堆肥は臭いが少なく、扱いやすい形状であること、ブロードキャスタによる散布の作業性等の利点を確認してもらいました。FF いしでらの組合長からはペレット堆肥導入の経緯や課題として反あたり1t散布する場合、フレコンに0.5tずつ入っているので散布にかかる時間がかかるなど実際に使用した感想を伝えていただきました。

今年度から同一ほ場でペレット堆肥を5か年連続施用した効果を実証する計画です。今年のかぼちゃ跡のブロッコリーの生育を確認しながら、生産者が環境に配慮した栽培に取り組めるよう支援していきます。



ペレット堆肥についての説明



ペレット堆肥の散布実演